



## GXS、Inovis 合併に関する FAQ

2010年6月3日、GXSとInovisの合併手続きが完了したことを発表いたしました。

この資料は、合併した新しいGXSに関するFAQをまとめたものです。詳細は、以下をご覧くださいませよう、宜しくお願いいたします。

### 内容

Q1. GXSとInovisが合併した理由・背景を教えてください。.....	2
Q2. 合併会社の従業員数や顧客数などを教えてください。.....	2
Q3. 合併後の新しい企業名は？.....	2
Q4. 合併後の企業所有構造について教えてください。.....	2
Q5. 今回の取引条件について聞かせください。.....	2
Q6. GXSとInovis製品・サービスを引き続き購入することは可能ですか？.....	3
Q7. 今後GXSは、両社EDI・VANをサポートしていきますか？.....	3
Q8. この合併は、B2B eコマース業界にどのような効果や影響がありますか？.....	3
Q9. 今後、GXS製品ポートフォリオとして、どのようなサービスと提供していきますか？.....	3
Q10. 今後の技術構成(アーキテクチャ)とデータセンターについてお聞かせください。.....	4
Q11. 両社のトランスレータ技術はどう対応していきますか？.....	4
Q12. 現在利用しているサービスやサポートは、引き続き対応していきますか？.....	4
Q13. Inovisのお客様にとっての利点は？.....	4
Q14. GXSのお客様にとっての利点は？.....	5
Q15. 質問する際の連絡先を教えてください。.....	5
将来予想に関する記述.....	5

#### **Q1. GXS と Inovis が合併した理由・背景を教えてください。**

GXS と Inovis の合併により、単一の、世界を網羅する広いネットワークリーチを併せ持った、世界最大級の B2B 統合サービス・ソリューション・プロバイダーが誕生しました。経験豊富で優れたテクノロジーを持つ業界のリーダー的存在である 2 社の合併により、B2B e コマースの業界の進歩を更に加速させていきます。この合併会社は、引き続き「GXS」として活動を行っていきます。

Inovis は、小売、一般消費財の分野を得意とし、GXS が得意とするハイテク、電子機器、金融サービス、車載分野を補完する製品・サービスとして位置づけられています。合併会社は、以下のような特徴があります。

- B2B システム統合サービス・ソリューション・プロバイダーのグローバルリーダー
- 世界を網羅する広いネットワークリーチ、様々な業界のお客様を支援
- 業界特有のベストプラクティス、グローバル標準の専門知識や技術、ローカルサポートなど、世界で 2,000 人を超える B2B システム統合を専門とする専任スタッフ 等

#### **Q2. 合併会社の従業員数や顧客数などを教えてください。**

- 従業員数: 2,400 名
- 顧客数: 40,000 社
- グローバル・オペレーション: 世界 99 カ国でお客様を支援

#### **Q3. 合併後の新しい企業名は？**

合併後の会社名は、「GXS」です。Inovis は、「Inovis, a GXS company」として、事業活動を行ってまいります。引き続き Inovis 製品・サービスを販売、サポート、保守管理を行ってまいります。

#### **Q4. 合併後の企業所有構造について教えてください。**

フランシスコ パートナーズおよびその共同出資者のゴールデン ゲート キャピタル、サーベラスおよびノーウェスト ベンチャー パートナーズが所有します。経営権は、フランシスコ パートナーズが引き続き保持します。

#### **Q5. 今回の取引条件について聞かせください。**

合併契約に基づき、GXS と Inovis は、戦略的合併により合併しました。企業財務会計は公表しており

ません。フランシスコ パートナーズおよびその共同出資者のゴールドデン ゲート キャピタル、サーベラスおよびノーウェスト ベンチャー パートナーズが所有します。各出資者は、GXS の取締役会のメンバーです。

**Q6. GXS と Inovis 製品・サービスを引き続き購入することは可能ですか？**

はい、両社製品・サービスを引き続き購入いただけます。両社すべての製品・サービスは、今度も販売、サポート、保守管理を行っていきます。

**Q7. 今後 GXS は、両社 EDI・VAN をサポートしていきますか？**

はい、GXS は、両社 EDI ・VAN をサポートしていく予定です。

**Q8. この合併は、B2B e コマース業界にどのような効果や影響がありますか？**

GXS は、B2B e コマース業界では世界的なリーダーとして認識されており、業務活性化やグローバルサプライチェーンの自動化において、最新技術を用いた柔軟性のあるグローバルプラットフォームを提供してきました。一方、Inovis は、e コマースの分野で、お客様のニーズに合わせた優れたプラットフォーム、ソフトウェア、サービスソリューションなどを提供し続けてきた実績を持っています。

両社が合併したことで、B2B e コマース業界に非常に優れた、革新的な最良のプラットフォームを提供できるようになります。このプラットフォームを通じて、お客様は最新の技術をご利用いただけます。また、自社ソフトウェアと世界中の取引先様と容易に統合することが可能になります。

特に、MFT (Managed File Transfer) ソフトウェアやサービス、B2B アウトソーシングサービス、B2B ゲートウェイ・ソフトウェア、サプライチェーンの可視化サービスなど、お客様のニーズに柔軟に対応しながら B2B システム統合サービスを提供できるようになります。また、お取引が中・小規模のお客様向けに、GXS Trading Grid for Excel (Excel ベース EDI)、Intelligent Web Forms (Web EDI)、EDI-to-Fax、デスクトップ EDI ソフトウェアなどのソリューションもご用意していたしております。

**Q9. 今後、GXS 製品ポートフォリオとして、どのようなサービスと提供していきますか？**

GXS は、グローバル・メッセージングサービス、B2B アウトソーシングサービス、B2B ゲートウェイのソフトウェアやサービスを中心に、業界トップレベルの製品ポートフォリオ作りに全力で取り組んで参ります。

**Q10. 今後の技術構成(アーキテクチャ)とデータセンターについてお聞かせください。**

**■データセンターのインフラについて**

GXSは、米国オハイオのクリーブランドとオランダのアムステルダムにデータセンターを持っています。Inovisは、米国ジョージア州のリチャースプリングスとテキサス州のアレンにデータセンターを持っています。今後GXSは、データセンターのインフラにかかる費用を最小限に抑え、優位性のあるTCOを確実にするためにコストを下げ業務を簡素化し、できるだけ実用的になるようこれらのデータセンター設備を統合していく予定です。

**■技術構成(アーキテクチャ)について**

GXSとInovisは、拡張性のある、保持管理しやすい最新のアーキテクチャを持つという共通の構想を持っています。今後は、JAVAベースの開発環境とオープンシステムのソリューションから成るプラットフォームになります。そして、GXSはマイクロソフト社との協力関係を持っていますので、適宜マイクロソフト社の技術も適応させていきます。ロードマップなどは、お客様やパートナー様に合わせたクラウド環境との統合や、プラグラムが可能な外部フレームワークも含まれます。より詳細な情報につきましては、GXSの今後の発表をご確認ください。

**Q11. 両社のトランスレーター技術はどう対応していきますか？**

GXSは、両社すべてのトランスレーター技術をサポートしていきます。

**Q12. 現在利用しているサービスやサポートは、引き続き対応していきますか？**

はい。製品・サービス統合計画が発表されるまでは、両社すべてのサービスを引き続き提供し、サポートしていきます。すべての製品やサービスをお客様にとってメリットがあるように統合を進めております。

**Q13. Inovisのお客様にとっての利点は？**

- 100,000社以上のサプライヤーと接続しているGXS Trading Grid®の利用ができるため、電子商取引を容易に拡大が可能に
- エンドツーエンドのグローバルサプライチェーンの可視化や、トランザクションフローの関連した業務やコストを低減することが可能に
- GXSは、サプライチェーンやサプライヤーへグローバルサービスを提供しているので、ローカル言

語でのサポート、地域ごとのお取引先様の管理サポート、国際標準技術対応とそのサポートなどの利用が可能に【例：GXS Intelligent Web Forms(Web EDI)、Trading Grid for Excel(Excelを使ったEDI)】

- Inovis 製品・サービスには新機能となる Active Application シリーズの利用
  - Active Logistics
  - Active Orders
  - Active Inventory Management
- Product Master Data Management(PMDA)：小売サプライチェーンの製品データやアイテム情報の同期し調整する世界最高クラスの PMDM ソフトウェアの利用等

#### Q14. GXS のお客様にとっての利点は？

- 既に 50,000 社以上のサプライヤーと接続している Inovis の VAN「Inovisworks」を利用可能に
- エンドツーエンドのグローバルサプライチェーンの可視化や、トランザクションフローの関連した業務やコストを低減することが可能に
- 業務の自動化：Fax-to-EDI や、フォーマット変換サービス、E メール添付機能など
- 幅広く使われているアパレル向けの小売データの同期サービス、流通業界通信標準「AS2」サポート強化など
- 強力な B2B ゲートウェイ、GXS ネットワークに補完するソフトウェアの Managed File Transfer (MFT) の利用が可能に(現在の GXS の製品・サービス群未対応の MFT のソフトウェアソリューション)等

#### Q15. 質問する際の連絡先を教えてください。

<p>日本： GXS 株式会社 Tel: 03-5574-7545 Email: gxs-inquiry@gxs.com <a href="http://www.gxs.co.jp/inovis/">http://www.gxs.co.jp/inovis/</a></p>	<p>U.S.: GXS 米国本社 Tel: +1-877-446-6847 (米国のみ) Tel: +1-404-467-3000 (米国以外の海外) Email: gxsinovis@gxs.com, info@inovis.com <a href="http://www.gxs.com/inovis">http://www.gxs.com/inovis</a></p>
--	--

#### 将来予想に関する記述

「将来予想に関する記述」が含まれており、過度に信頼すべきではありません。これらの将来予想に関する記述は、私たちの予測、マネージメントの信念、および現時点での情報に基づいたものです。私たちの戦略、計画、目的、可能性、意図、費用、ならびに歴史的事実でない本リリース中の予測およびその他の文言に関する記述を含みますが、それらに限定されません。また、これらの記述は、リスク、不確定要素および予測に影響されます。